

申込方法

参加の申込みは、「伊那市誌編さん室」で受け付けます。  
参加希望者は、FAX または電話で申込みをしてください。

FAX の場合

この用紙の参加票に必要事項を記入して、このまま FAX してください。  
FAX 番号 (0265) 98-0640

電話の場合

電話番号 (0265) 98-0630  
受付時間 平日 8:30~17:00

新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策について

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、中止や入場制限をさせていただく場合があります。
- 発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状がある場合や、強いだるさや息苦しさがある等体調が悪い場合は、参加を見合わせてください。
- 感染拡大地域等への訪問や大人数での会食等感染リスクの高い行動は控え、感染防止対策を徹底してください。
- 会場内ではマスクを着用してください。
- 会場受付において、手指消毒と検温にご協力ください。
- 会場は換気を行い、座席間隔をあけてお座りいただきます。

問い合わせ先

上伊那郷土研究会 矢島 信之 電話 (0265) 73-5035  
FAX (0265) 96-0118

伊那市教育委員会 市誌編さん室 電話 (0265) 98-0630 (平日8:30~17:00)  
(きりとりせん)

参加票

当日切り取って受付へお持ちください

ご家族等同行者がいる場合は代表者のみご記入ください

(ふりがな) 氏 名	お住いの地区 (該当地区に○をしてください)	電話番号
( )	【伊那市内】 伊那・富県・美篁・手良・東春近・ 西箕輪・西春近・高遠・長谷	( )
家族等同行者がいる場合 ( 合計 名 )	上伊那郡内・長野県内(郡外) 長野県外	-

(個人情報の取扱いについて)

※この票は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、講演会参加者で感染者が判明した場合等に調査・連絡を行うためのみに使用し、保健所等公的機関へ提供する場合があります。

※この票は、伊那市教育委員会で厳重に管理し、1か月後に破棄します。

第1回

文 化 講 演 会

森林(もり)と生きる

令和3年9月18日(土) 午後1時30分~4時  
(開場 午後1時)

生涯学習センター 6階  
ニシザワいなっせホール

参加費 500円(資料代)  
(高校生以下無料)

定員 200名

申込必要(先着順)

上伊那郷土研究会は、昭和32年発足以来『伊那路』を月刊で発行し、この10月で777号を数えます。伊那市では、令和2年度に『伊那市誌』の編さん事業に着手しました。地域文化の発展と向上を図るため、上伊那郷土研究会は伊那市教育委員会の共催を得て、講演会を企画しました。皆さんお出かけください。

— 第1部 —

ピアノ演奏 「耳を傾けよう」

ひらさわ まき

平澤 真希 さん



伊那市生まれ。ピアニスト。1993年ポーランドショパン音楽大学研究科に留学し最優秀首席卒業。ソロ、室内楽、オーケストラとの共演等世界各国で演奏。自然をテーマに作曲を始める。リリースされたCDは「レコード芸術」で特選盤に選ばれる。2020年自作曲「祈り」が国際版絵本(至光社)となる。同年より「ネイチャーピアノ」と題し「自然と人との調和」を目指した音楽活動を行う。

— 第2部 —

講 演 「石斧で舟を造った縄文生活の話」

あめみや くにひろ

雨宮 国広 さん



山梨県生まれ。縄文大工、建築家。丸太の皮むきのアルバイトをきっかけに、大工の道へ進む。2009年に石斧と出会い能登半島の真脇遺跡で縄文住居址の復元に携わる。その後、国立科学博物館の日本人のルーツをたどる「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」では、台湾から与那国島へ渡る丸木舟を制作した。近著には『ぼくは縄文大工』(平凡社 2020年)がある。

主催 上伊那郷土研究会

共催 伊那市教育委員会

後援 信濃毎日新聞社・中日新聞社・長野日報社・伊那ケーブルテレビジョン

申込方法は裏面へ